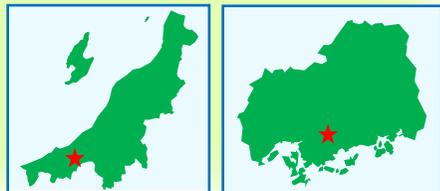


カメムシ斑点米発生抑制等生産体系実証

カメムシ斑点米発生抑制等生産体系実証協議会

(令和4年度～)

- ・(株)サタケ
- ・(有)穂海農耕
- ・農研機構中日本農研



実証試験地：新潟県上越市／広島県東広島市

成果目標

- ・化学農薬の使用回数の低減（3回→1回）
- ・除草管理による斑点米等の発生率の低減（5%→2%）
- ・選別工程における共連れ割合の低減（25%→20%）

カメムシ類発生抑制生産技術の実証

取組内容

- ①畦畔計測と年3回の高刈り除草を行い、
畦畔のカメムシ餌となるイネ科植物割合の低下による
カメムシ防除効果を検証
併せて、植生指数とカメムシ発生率との相関も調査
- ②地域内における各品種の割れ粃率の年次変動歴を
蓄積し、カスミカメ類の発生量および被害量を把握
(割れ粃調査 + 収穫物の継続調査)



斑点米カメムシ
(カスミカメ類)



年3回の高刈り除草



割れ粃

選別工程における品質管理技術体系の実証

取組内容

- ①斑点米混入による共連れ^{*}率の調査
→共連れ率のさらなる低減について検討
- ②斑点米の割合を段階的に設定し、混入率に応じた
色彩選別機の最適な選別条件を検証
→除草管理による斑点米抑制と選別機による
斑点米除去の両観点から、
米の歩留まりが向上する最適な方法を検討



斑点米



光選別機

※共連れ

斑点米等を除去する際に、
正常な米も一緒に除去さ
れてしまう現象

